

日本財団

【海と日本プロジェクト 2016】

下関における海を学ぶイベントの実施 (海でつながる)

【実施報告書】

下関海の日協賛会

事業名: 下関における海を学ぶイベントの実施(海でつながる)

団体名: 下関海の日協賛会

(1)イベント開催概要

イベントタイトル	しものせき海の日フェスタ2016~海と日本プロジェクト~				
イベントの 目的・ねらい	7月18日の「海の日」を記念して、「海」「関門海峡」をテーマに、7月17日・18日に「しものせき海の日フェスタ2016 〜海と日本プロジェクト〜」を開催。下関市民並びに観光客に、海峡都市・下関ならではの「食」「歴史」「文化」などを感じてもらい、海への感謝の気持ちを育むとともに海洋国家・日本の反映を願う。なお、関門海峡は源平壇之浦の合戦、明治維新など我が国の転換期に舞台になってきました。巌流島も関門海峡にあり、「歴史」は海峡都市・下関の財産であるため、「しものせき維新まつり」も同時開催。				
日程	平成28年7月17日(日)・18日(月・祝)				
開催場所	あるかぽーと岸壁芝生広場(下関市あるかぽーと)				
参加人数	約3万人				
主催	下関海の日協賛会				
共催	しものせき維新まつり実行委員会				
協力	下関商工会議所、しものせき観光キャンペーン実行委員会など				
告知方法	下関市市報、下関市ホームページ、フリーペーパー、告知ポスター・チラシ、下 関駅構内デジタルサイネージ、ラジオなど				

(2)イベント内容

イベント1	客船「にっぽん丸」お出迎え
内容	7月18日の「海の日」、商船三井客船株式会社の客船「にっぽん丸」が、当フェスタイベント会場の眼前に寄港。陸側の参加者には豪華客船の寄港を間近で見てもらい、また客船の乗船客には市民でお出迎え・おもてなしすることで、海峡都市・下関の魅力を体感してもらった。





事業名: 下関における海を学ぶイベントの実施(海でつながる)

団体名: 下関海の日協賛会

イベント2

ステージイベント(1)

内容

「海」「関門海峡」をテーマにしたステージイベントを実施。

ハワイアンバンドのライブ、フラダンス5団体80名・保育園2園の園児90名によるフラステージ、関門海峡シンガーズ並びに関門海峡合唱団による声楽ステージを実施した。



イベント3

海上保安庁下関海上保安署「1日海上保安官任命式」

に子ども達と乗船し啓発活動を実施した。

内容

ペーン〉、並びに海の緊急電話118番の周知を実施した。 1日海上保安官任命式で任命されるのは、山口支部所属の新人女子レーサー 末武里奈子選手と山本宝姫選手の2名。海の緊急電話番号118番と同番号 である第118期である2名は、任命式後、イベント会場内で啓発グッズを配付 するなどPRを実施するともに、子ども体験航海で運航する「巡視艇ともなみ」

海の日である7月18日に、全国海難防止強調運動く海の事故ゼロキャン





事業名: 下関における海を学ぶイベントの実施(海でつながる)

団体名: 下関海の日協賛会

イベント4

子ども体験航海

内容

子どもたちに巡視艇「ともなみ」に乗船してもらって関門海峡を航海し、海上保安署の業務への理解を深めるとともに、少年少女に健全な海洋思想を広めるために実施した。。

保護者・指導者を含む下関市内子ども会60名・下関海洋少年団7名が乗船。 航海コースは、あるかぽーと〜関門橋下〜満珠島沖〜関門橋下〜巌流島沖 〜あるかぽーと(航程:約12マイル 所要時間:60分)、計3便を運航した。





イベント5

水産大学校練習船「耕洋丸」船内見学会

内容

水産大学校練習船「耕洋丸」の船内を見学してもらい、少年少女に健全な海洋 思想を広めるともに、地元の大学校である当校への理解を深めてもらうために 実施した。

参加者は、市報で公募した市内小学生とその保護者50名、当フェスタでフラステージに出演した保育園児とその保護者90名の計140名。





事業名: 下関における海を学ぶイベントの実施(海でつながる)

団体名: 下関海の日協賛会

イベント6

客船「にっぽん丸」船内見学会

内容

客船「にっぽん丸」の寄港に当たり実施した人気企画で、市報により公募した50名が参加した。

参加者は、客船「にっぽん丸」の船内を見学し、豪華客船の設備などの説明を クルーから受けて驚きの声をあげていた。





イベント7

下関ボートPRブース

内容

下関ボートの認知度向上、PRを図るためにブースを設営した。

ボートを展示し、普段間近で見ることができない舟艇に多くの方が興味を持って見学していた。また、レース時の衣装を着ることもでき、舟艇に乗りながらの記念撮影に数百名のお客様が参加した。

山口支部新人レーサー・圓井勇輝選手もブースで下関ボートのPR、ボート乗り方説明を行い、お客様と交流を図った。





事業名: 下関における海を学ぶイベントの実施(海でつながる)

団体名: 下関海の日協賛会

イベント8

客船「にっぽん丸」歓迎式典

内容

客船「にっぽん丸」の寄港を歓迎するために実施した。 式典には、船側からはチャータラーである株式会社JTB首都圏の代表者と 「にっぽん丸」船長ら、下関市側からは市長、市議会議長らが参加し、下関市 からは花束、入港記念盾、入港記念品が贈呈された。





イベント9

ステージイベント②

内容

下関の歴史・関門海峡の歴史イベントの一環として、「歴史☆体感紙芝居」、観 光寸劇「武蔵・小次郎 海中の決闘」を実施した。

また、関門連携として北九州市門司港からバナナ叩き売り実演が行われたほか、山口ふるさと大使である歌手「山川哲」のステージも行われた。





事業名: 下関における海を学ぶイベントの実施(海でつながる)

団体名: 下関海の日協賛会

イベント10

維新海峡屋台村

内容

屋根瓦模様を施したテントを設営するともに、看板や造作も意匠をこらし、明治維新を髣髴させるとともに、江戸末期にタイムスリップしたような空間を演出した。各販売店の従事者は着物でお客様に応対し、下関の特産品や飲食物などを販売し、多くのお客様で溢れた。





イベント11

萩毛利藩大名行列

内容

下関の歴史・関門海峡の歴史イベントの一環として、維新の志士などに扮した約100名による萩毛利藩大名行列を実施した。

行列参加者は本物の衣装を身にまとっており、本格的な時代絵巻の再現に、 多くのお客様から歓声があがった。





事業名: 下関における海を学ぶイベントの実施(海でつながる)

団体名: 下関海の日協賛会

イベント12

長州砲古式演舞

内容

下関の歴史・関門海峡の歴史イベントの一環として、長州藩に伝わる火縄銃「長州砲」の射撃演舞を実施した。

通常の火縄銃よりも太くて大きな長州砲の射撃音(空砲)が響いて煙が立ち上ると、多くのお客様から歓声があがった。





イベント13

ステージイベント③

幕末ナイト「風は西から来たりて」

内容

下関の歴史・関門海峡の歴史イベントの一環として、「下関にちなんだ明治維新」を題材にしたミュージカルを実施した。

幻想的な雰囲気の中で実演される本格的なミュージカルを、多くのお客様が 観覧し楽しんだ。





事業名: 下関における海を学ぶイベントの実施(海でつながる)

団体名: 下関海の日協賛会

イベント14

海峡シャトルバス

内容

当フェスタの期間中、下関市内では「しものせき水族館・海響館の無料開放」 「海峡メッセ下関・海峡ゆめタワー20周年記念イベント」「唐戸市場・活きいき 馬関街」など多くのイベントが開催され、市街地は非常に混雑した。

そのため、客船の乗船客や当フェスタ参加者がスムーズに移動できるよう、下関駅~当フェスタ会場の間でシャトルバスを2台運行し、多くの方が利用した。





イベント15

オープンカフェ「碧彩カフェ」

内容

関門海峡の絶景と豪華客船を眼前に望み、また雲が無い晴天の青色と鮮やかな芝生の緑色のコンストラストが美しい当フェスタ会場で、本格的なオープンカフェを実施した。

カフェを楽しみながら、絶景とイベントも楽しむことができる贅沢な空間を演出し、併せて屈指の実力と実績を持つラテアート職人によるラテアート教室も実施した。





事業名: 下関における海を学ぶイベントの実施(海でつながる)

団体名: 下関海の日協賛会

イベント16

内容

市民と客船乗客でつくる「平家踊り&盆踊り大会」

下関を代表する伝統芸能の一つである「平家踊り」と、広く全国に知られている 盆踊りである「東京音頭」「炭坑節」を、下関市民と客船乗客が一緒に踊りつく

りあげるイベントを特別に実施した。

客船にっぽん丸の乗船客は、出港後、船内で平家踊りを事前練習し、下関市 民などはやぐらに立つ講師から東京音頭・炭坑節のレクチャーを受け本番に 臨んだ。

客船からは乗船客だけでなく、クルーの大半も参加し、太鼓や三味線の音が 響く中、総勢400名の客船乗客と地元住民が輪になって踊った。客船と地元 住民が相互参加でつくりあげる画期的なイベントとなった。





イベント17

龍馬とお龍の海峡夫婦花火

内容

坂本龍馬はお龍と結婚後、下関に居を構え、新婚間もない二人は、当時巌流 島に船で渡り、花火を打ち上げて楽しんだと、龍馬の死後、お龍が語っている。 来年2017年は二人が巌流島での花火を楽しんで150周年であることにちな んで、150発の打上花火を実施した。2日間にわたり約3万人が参加したイベ ントのフィナーレとして、夜空を打上花火が彩るとともに、にっぽん丸の汽笛が 響き渡った。



事業名: 下関における海を学ぶイベントの実施(海でつながる)

団体名: 下関海の日協賛会

3)その他

参加者の声

1. チャータラー(1)

昨日は本当にありがとうございました。

皆様のご尽力と心温まるおもてなしにお客様も大変感動されていらっしゃいました。 懇談からスタートした今回の企画でしたがクルーズ史に残るものになったと思います。 重ねて御礼申し上げます。

2. チャータラー②

天気にも恵まれ入港セレモニーから夜のイベントまで全てにおいて本当に良い1日でした。また下関の地元のたくさんの方が踊りの輪のなかに入って参加して、東京音頭や炭坑節を踊っている姿や乗船のお客様が平家踊りを踊っている姿を見て、かなり胸が熱くなりました。花火もとても豪華で、美しい打上げ花火で乗船のお客様もとても喜ばれていました。チャレンジングな企画を実現化してくださり、また実際に想像以上に素晴らしいイベントであったこと、私たちにとっても貴重な経験となりましたこと、感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

3. 船社

昨日の受入れ、ご対応本当にありがとうございました。

地元市民、ご乗船客両方の方を対象とした岸壁上での大型企画は私共も初めての体験で大変感激いたしました。昨日の帰船するお客様の表情を見て、貴市のお気持ちはきっとお客様に届いていると確信しております。

今回のご企画自体が大変魅力的な「観光資源」でした。

4. 参加者①

過去例がないような様々な特色を持ったイベントでした。

しものせき海の日フェスタは今後も継続して開催して欲しいと思います。

5. 参加者②

下関に今までなかったイベントでした。

このようなイベントがこれからの下関には必要だと感じました。

配布資料

(資料データがある場合、レポートに添付して 提出してください。)

ポスター・チラシデータ

ポスターはA2サイズ、チラシはA4サイズ、いずれも同デザイン

その他特記事項

7月18日の「海の日」、商船三井客船株式会社の客船「にっぽん丸」が下関港あるかぽーとに寄港しました。(JTB首都圏によるチャータークルーズ)

下関側では、海の日を記念して、にっぽん丸の寄港する「あるかぽーと」で、7月17日・18日と「しものせき海の日フェスタ2016~海と日本プロジェクト~」を初開催。下関の食・歴史・文化などを感じることができるよう「しものせき維新まつり」も同時開催し、「海」「関門海峡」をテーマに海峡都市ならではのイベントを盛大に実施しました。

開催期間中、特設ステージではハワイアンバンド、フラステージ、ミュージカルなどのイベントが目白押しで会場を盛り上げたほか、「維新海峡屋台村」では風情のある雰囲気の中で、下関の特産品や飲食物などの販売、オープンカフェなどが設置されました。

海の日18日には、にっぽん丸の市民見学会、海上保安庁による巡視艇を利用した子ども体験航海と1日海上保安官任命式、水産大学校による練習船「耕洋丸」の船内見学会、ボートレース下関によるPRブース、下関市長による客船寄港歓迎式典、総勢約100名による毛利藩大名行列、下関市民とにっぽん丸の乗船客による盆踊り大会、打上花火などが行われました。

下関市民と乗船客による盆踊り大会では、総勢約400名が東京音頭や下関の伝統芸能である「平家踊り」を輪になって踊り、2日間にわたり約3万人が参加したイベントのフィナーレとして、夜空を150発の打上花火が彩るとともに、にっぽん丸の汽笛が響き渡りました。

No.	掲載媒体	掲載・発行日時	媒体種別	番組名•紙面等	イベント当日の取材	備考
1	山口新聞社	6月23日	新聞	朝刊		
2	朝日新聞社	7月1日	新聞	朝刊		
3	西日本新聞(全九州版)	7月3日	新聞	朝刊		
4	毎日新聞社	7月7日	新聞	朝刊		
5	読売新聞社	7月12日	新聞	朝刊		
6	朝日新聞社	7月18日	新聞	朝刊	当日取材有り	
7	毎日新聞社	7月18日	新聞	朝刊	当日取材有り	
8	山口新聞社	7月18日	新聞	朝刊	当日取材有り	
9	山口新聞社	7月20日	新聞	朝刊	当日取材有り	
10	フリーペーパー「北九魂」	6月25日	フリーペーパー	フリーペーパー		
11	フリーペーパー「ほっぷ」下関版	7月15日	フリーペーパー	フリーペーパー		
12	フリーペーパー「サンデー下関」	7月16日	フリーペーパー	フリーペーパー		
13	じゃらん関西・中国・四国	7月1日	旅行情報誌	旅行情報誌		
14	市報しものせき	6月1日	下関市市報	下関市市報		
15	市報しものせき	7月1日	下関市市報	下関市市報		
16	北九州市政だより	7月15日	北九州市市報	北九州市市報		
17	市報しものせき	8月1日	下関市市報	下関市市報	当日取材有り	
18	山口きらめ一る	6月24日	メールマガジン	メールマガジン		
19	下関市メールマガジン「ふくふくマガジン」	7月14日	メールマガジン	メールマガジン		
20	しものせき観光キャンペーンチラシ	7月1日	観光パンフレット	観光パンフレット		
21	下関市観光政策課Facebook	6月26日	Facebook	Facebook		
22	下関市観光政策課Facebook	7月17日	Facebook	Facebook		
23	山口県観光政策課Facebook	7月6日	Facebook	Facebook		
24	山口県観光政策課Facebook	7月17日	Facebook	Facebook		
25	長門市twitter「ななび」	7月17日	twitter	twitter		
26	カモンFM	7月9日	ラジオ	市報しものせき通信		毎週土曜日 午前10時30分~午前10時45分
27	KRYラジオ	7月11日	ラジオ	そこが聞きたい!"担当"直入		毎週月曜日 午前8時40分~午前8時45分
28	FM KITAQ	7月3日	ラジオ	門司情報探偵団		毎週日曜日 午後7時~午後8時
29	FM KITAQ	7月8日	ラジオ	関門独立共和国		毎週金曜日 午後5時~午後6時
30	cross fm	7月9日	ラジオ	CROSS i		毎週日曜日 午後7時30分~午後11時
31	KBCラジオ	7月16日	ラジオ	徳永玲子の午後はニコニコ		毎週土曜日 午後0時30分~午後5時
32	WEB CRUISE	7月20日	ホームページ	WEB CRUISE News		
33	情報誌「港湾」	9月25日発行予定	港湾情報誌	港湾情報誌		
34	J:COM下関	8月5日~11日	ケーブルテレビ	こちらふくふく情報局	当日取材有り	月曜日~金曜日 11:00~11:30、16:00~16:30、 19:00~19:30、22:00~22:30、0:30~ 1:00 土曜日・日曜日 14:00~14:30、22:30~23:00、0:30~

港の見学会 事業

	実施日	学校名等	学年	参加 児童等数	引率	見学場所	船名
	5月30日(月) 10:45~12:45	夢が丘中学校	1年生	75人	5人	下関港国際ターミナル 関金フェリー	ソンヒ
	5月30日(月) 13:30~15:20	文洋中学校	2年生	49人	6人	下関港国際ターミナル 関金フェリー	, ,,,,
	9月23日(金) 10:15~10:45	豊浦総合支援学校	小学2年生 ~ 中学3年生	22人	24人	下関港国際ターミナル 関金フェリー	ソンヒ
	10月13日(木) 10:10~11:10	厚陽小学校 (山陽小野田市)	4年生·5年生	30人	3人	下関港国際ターミナル 関金フェリー	ソンヒ
港の見学会	10月18日(火) 13:30~15:00	王江小学校	5年生	19人	1人	下関港国際ターミナル 関金フェリー	はまゆう
	10月31日(月) 13:10~15:10	熊野小学校	3年生	144人	6人	下関港国際ターミナル 関金フェリー	ソンヒ
		垢田小学校	5年生	40人	2人		
	12月15日(木) 13:30~15:00	関西小学校	5年生	11人	1人	ト関港国際ターミナル 関金フェリー	はまゆう
		神田小学校	5年生・6年生	25人	3人		
				415人	51人		
		1				E III II A	
その他	8月1日(月) 13:00~16:30	小学校都	教諭	-	36人	長州出島 ターミナル 関金フェリー	はまゆう
i .	1						

公募:5•6年生•保護者

17人

16人 長州出島

8月24日(水) 10:00~15:00

小学生バスツアー

事業名: 下関における海を学ぶイベントの実施(海でつながる)

団体名: 下関海の日協賛会

(1)イベント開催概要

イベントタイトル	小学生「下関体験」バスツアー				
イベントの 目的・ねらい	"私たちのふるさと下関"の知られざる魅力を「海」をテーマに、みんなで楽しく体験し、知って、驚いて、自慢することで、わが街への愛着や誇りを高めることを目的とする。				
日程	平成28年8月24日(水)				
開催場所	下関港沖合人工島 長州出島、唐戸市場、下関市立しものせき水族館 海響館				
参加人数	16組33名(小学生17名、保護者16名)				
主催	下関海の日協賛会・下関市				
共催	なし				
協力	公益財団法人下関海洋科学アカデミー				
告知方法	市報しものせき平成28年6月号で参加者を募集				

(2)イベント内容

イベント1 内容	下関の港を学ぼう ~港では、どんなことをしているのだろう?~
	下関市垢田地区の沖合で開発が進む人工島「長州出島」。普段、一般の人は入ることができない場所で、新たな国際物流の拠点としての港の役割を学びました。 目の前、響灘の沖合に浮かぶたくさんの船が、関門航路に入るタイミングを待ったり、検疫の手続きをしたりといった理由で泊まっていることを知りました。また、ナンバープレートを外されたたくさんの中古車が、整備点検をされ、ここから海外、遠くはアフリカまで輸出されると聞いて、参加した子供たちは興味深そうに眺めていました。





事業名: 下関における海を学ぶイベントの実施(海でつながる)

団体名: 下関海の日協賛会

イベント2 内容

①下関とくじらのはなし

(講師:石川創(下関海洋科学アカデミー鯨類研究室長))

下関市の動物にも指定されている、くじら。その生態や捕鯨と下関との歴史的な関わりを、分かりやすく丁寧に解説していただきました。

「スナメリ」が近くの海に住んでいること、新種の「ツノシマクジラ」が下関市で発見されたことなど、驚きがたくさんありました。

②市長のおはなし ~下関のすばらしさについて~

(講師:中尾友昭(下関市長))

「死ぬまでに行きたい!世界の絶景」第3位の角島大橋、水族館のロコミランキング、日本で第3位、世界で第5位にランクインした海響館、下関市が進める、 くじら日本一のまちづくりを目指した取り組みなど、市長の口から、たくさんの下関の自慢を教えてもらいました。





イベント3 内容

バックヤード体験 ~いつもとちがう水族館~ おさかな博士"たまちゃん"と真剣クイズバトル!!

~超難問クイズにチャレンジしよう~

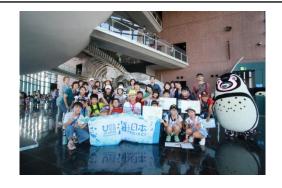
(講師: 玉井健太(下関市立しものせき水族館 海響館 学芸員))

みんな、何度も行ったことのある水族館 海響館ですが、普段は入ることのできないバックヤードを巡る貴重な体験をしました。

水族館の裏側を覗いたことで、水槽を裏側や上から見た迫力に驚き、また、飼育スタッフの苦労や魚を大切にしている思いを知ることができたようです。

最後は、海響館の学芸員さんを相手に、館内をくまなく回ってヒントを探すクイズバトルを行いました。超難問にもかかわらず、全問正解者も出て、出題者の学芸員さんもびっくりしていました。バックヤード体験と合わせて、みんな、海響館のことを深く知って、もっと好きになりました。





事業名: 下関における海を学ぶイベントの実施(海でつながる)

団体名: 下関海の日協賛会

3)その他

参加者の声	・親子での話題が広がった。 ・子供が海響館の仕事にとても興味をもってくれました。 ・たくさん知らないことを教えていただき、たいへん充実した1日でした! ・下関の知らない事もたくさんあり、親子で楽しく参加することができました。 アンケート調査結果 (参加者16組中15組が回答) 大変よかった:93% どちらかと言えばよかった:7% どちらでもない:0% どちらかと言えばよくなかった:0% よくなかった:0%
配布資料 (資料データがある場 合、レポートに添付して 提出してください。)	・下関とくじらのはなし ・おさかな博士"たまちゃん"と真剣クイズバトル!!
メディア掲出	KRY山口放送 市政だより「しものせき21」 9月4日(日)、11日(日) 11:50~12:00
その他特記事項	イベント当日の模様は、 YouTube「下関市シティプロモーション公式チャンネル」で順次公開しています。 https://www.youtube.com/channel/UC7xtqlDBH4PFOgakdOFy9Fw また、下関市シティプロモーションfacebookページにも掲載されています。 https://www.facebook.com/shimonosekicitypromotion/

No.	掲載媒体	掲載・発行日時	媒体種別	番組名・紙面等	イベント当日の取材	備考
1	市報しものせき	6月1日	広報紙	小学生「下関体験」バスツアー		放送時間 11:50~12:00
2	KRY山口放送	9月4日、11日	テレビ	市政だより「しものせき21」	当日取材有り	放送時間 11:50~12:00